



本校3年目を迎えました校長の増田博幸です。令和7年度もこれまで同様、御指導賜りますようよろしくお願いします。

さて、本校には、卒業生が卒業前に在校生へ渡している「3つのバトン」というものがあります。「3つのバトン」とは、①あいさつ、②全力、③思いやりのバトンです。私はこの「3つ

【とよまる】のバトン」を150年以上続く本校の伝統として、これからも受け継ぎ、本校の誇りに、地域の自慢にしたいと考えています。

そこで私は、始業式で子どもたちへ「3つのバトン」を誇りにするために、一人一人に頑張ってもらいたい大切なことを伝えました。それが以下の3つです。

- ① あいさつは、あいさつ日本一の学校を目指します。そのためには、いつでも・どこでも・誰にでも、相手の目を見て、自分からあいさつすることが大切です。
- ② 全力は、勉強も運動も、最後まで諦めずに取り組みます。そのためには、よく考えたり、何度も何度もチャレンジしたりすることが大切です。
- ③ 思いやりは、誰にでもやさしく、仲良くします。そのためには、ていねいな言葉遣いが大切です。

本校の子どもたちにこのような姿が見られた時には、認めて褒めていただきますようお願いいたします。

そして今年度は、学校評議員制度に変わり、学校運営協議会制度が始まります。この制度は、保護者や地域住民が一定の権限と責任をもって学校運営に参画することにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、よりよい教育の実現に取り組むことを目的としています。本校の子どもたちを、学校を核に地域の大人が育てるということです。育てたい子どもの姿を共有し、そのために何ができるのかを話し合う組織が学校運営協議会になります。本校が地域密着型教育をこれまで以上に推進・発展できるよう、教職員や保護者、地域住民の皆さんが学校運営に参画することにより、地域と共に特色ある学校づくりを推進していきたいと考えております。御理解と御協力をお願いします。

最後に、私は子どもたちにとって、『楽しい学校』、『明日も行きたい学校』運営に努めてまいります。もちろん学校ですから、子どもたちは授業で学んだり、集団生活の中できまりやルール、マナーを守ったりしなければなりません。しかし、私はそれ以上に学校は、子どもたちにとって『安心・安全な場所』で『楽しい場所』でなければならないと考えます。そのような学校を創るために、保護者や教職員、地域住民の皆様のお力添えがなければ、成立しないと思っております。多くの大人が子どもたちの未来のために、「こんな豊野小学校にしたい」、「子どもたちと一緒に育てていきたい」と、顔を合わせて語り合いたいと思っておりますので、ぜひ本校の近くを通りかかった際にはお立ち寄りください。豊野地区の仲間として、子どもたちの未来と一緒に考えていきましょう。

今年度もよろしくお願い申し上げます。

校長 増田 博幸